

好きも嫌いな人も

# 町の猫のいっしょに考えよう

家庭での飼育頭数が犬を超えるなど猫ブームの一方で、町では猫をめぐるさまざまな問題が起きています。

猫好きの人も、猫嫌いな人も、いまいっしょにできることってどんなこと？ 人と動物がともに豊かに暮らせる町づくりのために活動する NPO 法人ゴールゼロの代表・獣医師の齊藤朋子先生に質問してみました。

★NPO 法人ゴールゼロは、パルシステム東京市民活動助成基金の2015年度助成対象団体です。

## みんなが心を傷めている こんなことや あんなこと



## こんな解決法を試してみよう？

### 嫌いなものやカバーで寄せ付けない

木酢、酢、レモンバーム、ミント、コーヒーかす、犬の臭いなど、猫が嫌がる臭いで対処。エンジンルームやタイヤのホイールに隠れてしまう場合は、カバーをかけるのも対策のひとつ。また、エンジンをかける前には、猫がいないか叩いて確認するなどの工夫を！



猫も学習するので、一時的な対策にしかならない場合もあります。そんなときは猫のキモチになって、手を要乳品を変え、知恵比べですわ



齊藤朋子先生

### 猫専用トイレを作る

プランターなどに水はけのよい砂を入れ、マタタビなど猫が好きなものを混ぜて猫専用トイレを作ります。入ってほしくない場所から少しずつ離していくとよいでしょう。またトイレは、定期的な清掃することも重要です。



引っかかれたり、噛まれたときは？  
まずは、バイ菌を出すために傷口から少し出血させ、水で洗ってから消毒します。痛みや腫れが出なくても過信はせず、必ず病院に行き、抗生物質を処方してもらいましょう。

## こんな悩みに心傷める人も…



### えさやりはルールを決めよう！

猫が好きならばばかりでないのも現実。近隣から猫が集まらないように、時間を決めて置きっぱなしにしない、人目につかない時間にするなど、置きエサのルール作りをすることが重要です。



## 意識低い系・猫嫌いの編集者Qが聞く！

### いま私たちが考えたいこと 始められること

Q 殺処分はここ10年でずいぶん減っていますが、まだ問題なんですか？  
齊藤 人間の勝手に処分される命をゼロにすることが目標なので、減ったからよいという問題ではないんです。殺処分問題は、動物だけの問題にとらえられがちですが、本当は「人」の問題。状況次第で子どもや老人、障がい者など、声を上げられずに見過ごされてしまう社会的弱者の問題にも通じているところがあります。抗議すらできない弱い立場の命を、行政が税金を投じて処分するというしくみを考え直し、社会全体の意識を変えていくことは、人間にやさしい社会を作ることにつながると私たちは考え、活動を続けています。

Q 猫に迷惑している人がいるのも現実ですが…？  
齊藤 野犬がたくさん殺処分された時代がありました。すると今度は猫が増えてきた。増えすぎて困ったからと猫を減らせは、次はハトやネズミが増え始めるかも、犬も猫も人間も社会や地球を構成する一員。人間の勝手に排除するのではなく、共生する方法を考えることが大切なのではないでしょうか。

Q 共生のためにいまできることは？  
齊藤 まずは身近にいる飼い主のいない猫が子どもを産まないように不妊去勢手術をして、二代限りの命を全部とせることです。ただ、不妊去勢手術にはお金がかかります。個人では難しいですが、地域で、市区町村など、地域で取り組みが大切です。

活動の進め方などわからないことがあれば、ゴールゼロにお問い合わせください。また、保健所のはか専門の部署を設けている自治体も増えているので、まずは相談してはいかがでしょうか。

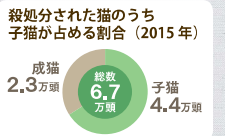
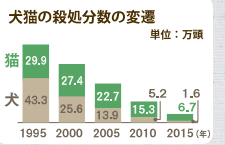


## 犬や猫との楽しくらしを応援！ Lfink Ring Love (4週に1回発行)

家族同様の犬や猫のために、原材料の品質管理を行い、できるだけ国産原料にこだわったフードをお届けしています。しつけや社会と動物をめぐる問題など、動物と暮らすための知識を深める特集記事も好評！ 10月号は、この「わいわい」と同時発行です(希望者のみ)。

## 殺処分される猫のほとんどは子猫

2015年の猫の殺処分数は6.7万頭。しかし、殺処分される猫のうち4.4万頭は生まれたばかりの、自力では生きていけない「乳のみ子猫」。殺処分の理由はさまざまですが、ほとんどは飼えなくなったなど、人間の勝手によるもの。生まれてきた命には何の罪もないのに、増えすぎたから、犬・猫だからと命を粗末にする社会でよいのでしょうか？



## 殺処分を増やさないために！

「犬・猫の引取り及び負傷動物の収容状況」(環境省)より  
通称「さくら猫」は、耳をV字にカットすることで、不妊手術を受けたことを知らせています。  
飼い猫には、迷子になったときも家に帰れるように、首輪やマイクロチップを！  
★不妊手術を受けても耳をカットしない猫もいます。